

一 不可失本心の事

仰せに云はく、此の本心と云ふは法華經の信心の事なり。失と申すは謗法の人にすかされて、法華經を捨つる心出来するを云ふなり。されば天台大師云はく「若し悪友に値へば則ち本心を失ふ」云云。此の釈に悪友とは謗法の人^あの事なり。本心とは法華經なり。法華經を本心と云ふ意は、諸法実相の御經なれば十界の衆生の心法を法華經とは申すなり。而るに此の本心を引きかへて、迷妄の法に著するが故に本心を失ふなり。此の本心に於ては三五の下種の法門なり。若し善友に値ふ時は、失ふ所の本心を^{たちま}忽ちに見得するなり。所謂迦葉・舍利弗等是なり。善友とは釈迦如来、悪友とは第六天の魔王・外道・婆羅門是なり。所詮末法に入りて本心とは、日蓮が弘通の南無妙法蓮華經是なり。悪友とは法然・弘法・慈覚・智証等是なり。若し此の題目の本心を失はんに於ては、又三五の塵点^{じんてん}を^ふ経べきなり。但如是展転至無数劫^{によ ぜ てんでん し むしゅこう}なるべし。失とは無明の酒に酔ひたる事なり。仍^よって本心を失ふと云ふなり。此の^酔えいをさますとは權教を捨てしむるを云ふなり云云。